

愛媛県宇和島市日振島における住民の生活行動

黒田義久・武智賢太郎(愛媛大学法文学部)・寺谷亮司(愛媛大学地域創成研究センター)

KURODA Yoshihisa, TAKECHI Kentaro, TERAYA Ryoji

1 はじめに

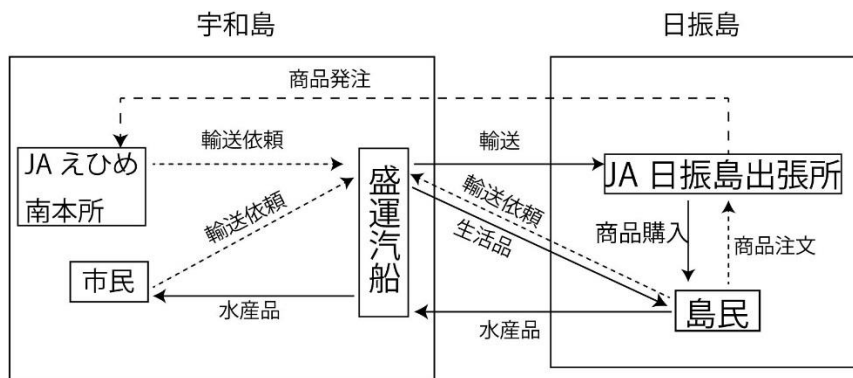
離島での生活と都市部での生活の間の最も大きな違いは、購買行動にある。都市部では食料品などの低次財から衣料品や家具などの高次財までを比較的簡単に購入することができる。しかし、離島において高次財を手に入れることは難しい。宮澤(1996)は、離島に住む住民が高次財を購入する場合、近隣にある比較的大きな都市で買物し、衣料品などは通信販売で購入すると述べている。現在では、ネット通販でほとんどのものを購入することができるため、離島での購買行動が大きく変化していることが推察される。また、離島では住民同士の関係が密接であるため、島で行われる行事などは住民の参加率が高いことが考えられる。しかし近年は、若者は働くために都市部へ出て行くことが多く、島内での行事が存続できなくなりつつあることも考えられる。

以上を踏まえ、本稿は、離島への物資運搬、アンケート調査からみた購買行動、コミュニティ活動

に着目し、愛媛県宇和島市日振島における住民の生活行動を考察することを目的とする。なお、日振島の概況については、滝石ほか(2015)を参照された。

2 日振島への物資運搬

日振島への物資運搬には貨客船が使用され、主に普通船「しらさぎ」がその役目を担う(写真1)。運搬される物は多種多様であり、生活雑貨や家電製品が多い。季節によって運搬荷物は変化し、例えば冬季はプロパンガスの運搬が多い。自転車や車などが運搬されることもある(写真2)。島からは主に生鮮水産物が宇和島へ送られる。また、第3週はJA日振島主張所で特売があるため、荷物運搬量が多くなる。盛運汽船による宇和島一日振島間の輸送について、まず輸送依頼者は、盛運汽船に日振島、宇和島への輸送を依頼する(第1図)。日振島への輸送依頼が最も多いのは農協である。これは日振島の各集落に農協の主張所が存在し、同出

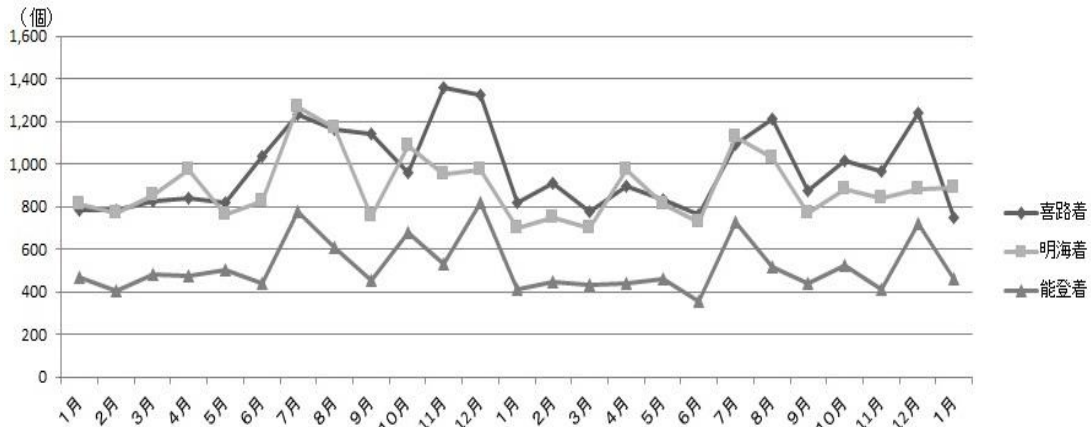


第1図 盛運汽船による宇和島～日振島の物資輸送
(聞き取り調査により作成)

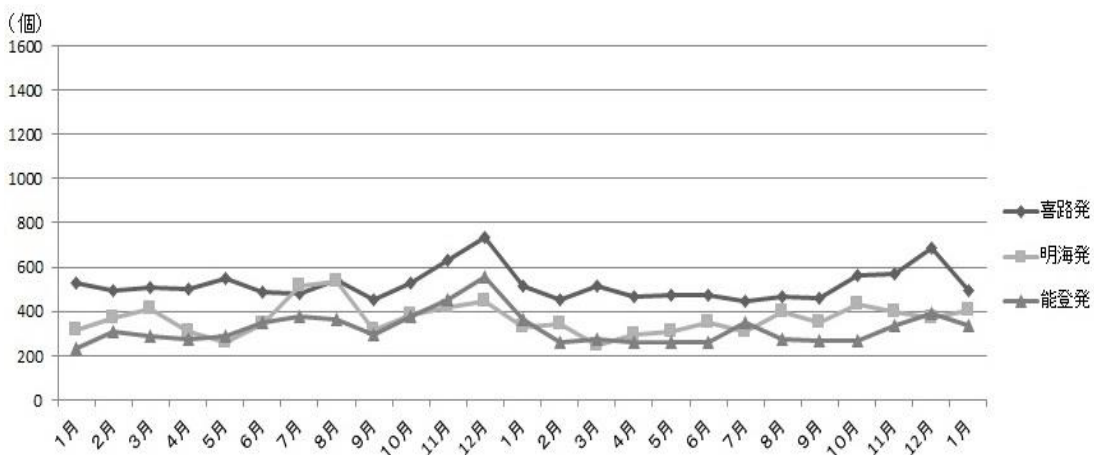
張所が島民からの注文や不足物資の補給を宇和島市のJAえひめ南本所へ連絡し、そこが盛運汽船に一括で輸送依頼を行うためである。運搬される荷物の7割が農協の荷物であることから、盛運汽船の取扱荷物は農協に大きく依存している。農協以外の一般市民が盛運汽船に配送を頼むこともできる。この際は料金が発生し、20kgまでの荷物は480円である。高速船で運ぶと1.5倍の値段になるため、ほとんどの荷物は普通船で運ばれる。小さい荷物は連絡なしに配送してもらえるが、ガスボンベなどの大きなものは事前に連絡する必要がある。船が日振島の各集落に着くと、出張所職員や島民

が荷物を受け取りに来る(写真3)。その際に荷物を入れていた段ボール箱や発泡スチロール箱を回収する。回収した箱は宇和島市に持ち帰り、農協の荷物を日振島へ運搬する際に再利用される。

月別の輸送量をみると、日振島への輸送量が多いのは、7月・8月と11月・12月である(第2・3図)。7・8月はお盆、11・12月は日振島から宇和島へ魚などの輸送、年末年始の準備物資を宇和島から日振島へ輸送することが多いからである。魚など生鮮品の場合は、配送が早い宅急便(クロネコヤマト)を使うことが多い。第2図と第3図を比較すると、宇和島→日振島への輸送量が日振島→宇



第2図 宇和島から日振島への物資輸送個数(2012年1月～2014年1月)
(盛運汽船内部資料により作成)



第3図 日振島から宇和島への物資輸送個数(2012年1月～2014年1月)
(盛運汽船内部資料により作成)

和島の輸送量に比べかなり多い。近年、輸送量は全体的に減少傾向にあるが、例外的に「ゆうぱっく」は増加傾向にあり、年間約 2,800 個が輸送されている。輸送量の減少は盛運汽船の経営に大きく影響する。日振一宇和島航路改善協議会(2011)によると、2009年の航路補助金は約1億9,000万円であり、同航路は国からの補助金で何とか経営している状況である。

3 日振島における住民の生活行動

1) アンケート回答者の属性

日振島住民に対して購買行動についてのアンケート調査を実施した。調査方法は、9月16日～18日に日振島へ調査に訪れた際に、一か月後をめどとするアンケート回収を依頼した。アンケートの回収数は127部である。日振島の人口は343人なので、総人口の37%の回答を得ることができた。集計別回答数は、明海地区が37名(男性22,女性15)、能登地区が47名(男性20,女性23,不明3)、喜路地区が44名(男性17,女性23,不明4)の合計127名である。年齢別回答数は、20代7名、30代13名、40代10名、50代33名、60代28名、70代18名、80代6名、不明4である。

2) 日振島住民の生活行動の特徴

宇和島を訪れる頻度で最も多いのは月1回程度である(第1表)。ただし、明海、能登地区では月1回の回答の割合が最も高いのに対し、喜路地区では年に数回の回答割合が最も高い。宇和島を訪れる頻度が低い理由の一つとして、フェリー料金の高さが挙げられる。普通船の片道料金が1400円、高速船の片道料金が2050円であり、さらに普通船は1日1便、高速船は1日3便しかないため、高速船を使わざるを得ないことが多い。高齢者は、通院のためであれば船賃が半額補助される制度を利用し、金銭的負担を減らすことができる。しかし、金銭的負担が完全になくなるわけではないため、宇和島にいつでも気軽に訪れることができる訳ではない。

通常宇和島を訪れる目的は3地区ともに買物が圧倒的に多く、その次が通院となっており、明海地区は散髪、喜路、能登地区は食事の回答が比較的多い(第2表)。喜路、能登地区は通院の回答が最も多く、明海地区は通院の回答が他の2地区より少ないため、訪問頻度が少ないと考えられる。このため、通常宇和島へ行く際に訪れる施設は、スーパー、病院、薬局、レストラン等などの回答が多い(第3表)。直近で宇和島を訪れた際の訪問目的と訪問施設は通常訪問時とほぼ同様である(第4・5表)。訪問施設名は通常訪問時と直近の訪問時で変化はほとんど見られず、フジ、しんばしスーパー、市立病院、レディ薬局、きさいや広場、ダイキなどが多い(第6・7表)。訪問施設からみた日振島住民の宇和島市での購買行動の範囲は、南北約4キロ、東西約2キロであり、宇和島市の中心部だけでなく、警察署や宇和島北駅付近まで行動していることがわかる(第4図)。

日振島住民の最多商品購入先の特徴をみると、日振島と宇和島中心部が圧倒的に多い(第8表)。食料品は、明海地区の松山の2名の回答を除き、3地区すべてが日振島と宇和島中心部である。ただし、喜路、能登地区の住民は宇和島中心部での購入が多く、明海地区では日振島での購入が多い。日振島では、魚や肉は、週に1回のみ宇和島の農協から送られてくるので、JA日振島出張所では冷凍保存している(写真4・5)。同出張所で購入する魚や肉を保存するため、島内の各家庭の多くは大きな冷凍庫を保有している(写真6)。生活雑貨の購入は3地区ともに宇和島中心部の回答が多く、明海地区ではネット通販の利用が2名みられる。薬・医薬品の購入先は、3地区すべてが宇和島の回答が最も多く、明海、喜路地区ではネット通販の回答が存在した。薬・化粧品の購入は、宇和島中心部が多い。衣類品の購入は、宇和島中心部、大洲、松山、ネット通販の回答順に多い。電化製品の購入は、日振島、宇和島中心部、ネット通販の回答順に多い。日振島では生協を通じて電化製品を購入することが出来るため、日振島の回答が多いと考えられる。

第1表 宇和島への訪問頻度

	週1回	月2～3回	月1回	年に数回	合計
明海	4 (11.1)	6 (16.6)	16 (44.4)	10 (27.7)	36 (100.0)
喜路	9 (20.9)	13 (30.2)	5 (11.6)	16 (37.2)	43 (100.0)
能登	6 (13.0)	15 (32.6)	18 (39.1)	7 (15.2)	46 (100.0)
合計	19 (15.2)	34 (27.2)	39 (31.2)	33 (26.4)	125 (100.0)

(アンケート調査により作成。単位は人(%), 有効回答の集計)

第2表 宇和島訪問の通常目的

	買物			通院	理容・美容院	レジャー	食事	合計
	スーパー	薬局	その他					
明海	36	15	32	14	7	1	4	109
喜路	29	5	11	33	1	4	5	88
能登	28	8	7	33	2	1	7	86
合計	93	28	50	80	10	6	16	283

(アンケート調査により作成。単位は人, 複数回答の集計)

第3表 宇和島での通常訪問施設

	スーパー	病院	薬局	レストラン等	合計
明海	40	13	14	5	72
喜路	32	33	5	5	75
能登	29	33	7	7	76
合計	101	79	26	17	223

(アンケート調査により作成。単位は人, 複数回答の集計)

第4表 直近の宇和島訪問時の訪問目的

	買物			通院	理容・美容院	レジャー	食事	合計
	スーパー	薬局	その他					
明海	34	6	27	7	4	1	7	86
喜路	17	5	7	27	1	2	8	67
能登	17	7	7	28	1	1	10	71
合計	68	18	41	62	6	4	25	224

(アンケート調査により作成。単位は人, 複数回答の集計)

3地区の宇和島の平均滞在時間を1～4, 5～8, 9～24, 25時間以上にわけてみると, 5～8時間が最も多く, 約4割を占める。1日以上滞在者が多いため, 平均時間を算出すると18時間となる(第9表)。宇和島日帰りでも長く宇和島に滞在するには, 朝7時の高速船で宇和島へ行き, 15時35分の高速船で日振島に帰る方法があるが, 9～24, 25時

間以上の滞在が全体の約半分の割合を占めており, 宇和島での滞在時間が比較的長いことがわかる。

ネット通販を利用するのは3地区ともに約10名である(第10表)。購入品は, 本や衣料品が多く, 日振島での購入することが困難なものである。喜路地区の2名はほぼすべてのものをネット通販で購入していると回答したが, 他の2地区ではその

第5表 直近の宇和島訪問時の訪問施設

	スーパー	病院	薬局	レストラン等	合計
明海	38	14	17	7	76
喜路	22	27	3	8	60
能登	21	28	5	10	64
合計	81	69	25	25	200

(アンケート調査により作成。単位は人、複数回答の集計)

第6表 宇和島の通常訪問時の訪問施設名

	スーパー						薬局		
	フジ	しんぱし	サンシャイン	ハッピー	エースワン	マルナカ	レディ	ササオカ	コスモス
明海	17	10	3	4	2	0	10	3	0
喜路	11	7	1	0	1	1	4	2	0
能登	17	5	2	1	0	0	1	5	1
合計	45	22	6	5	3	1	15	10	1

	病院		きさいや広場	ダイキ	コンビニ		松下釣具	合計
	市立宇和島病院	徳州会病院			ローソン	サンクス		
明海	6	0	8	6	7	1	3	49
喜路	11	0	4	2	1	1	1	27
能登	8	3	2	2	0	0	1	32
合計	25	3	14	10	8	2	5	108

(アンケート調査により作成。単位は人、複数回答の集計)

第7表 直近の宇和島訪問時の訪問施設名

	スーパー						薬局		
	フジ	しんぱし	サンシャイン	ハッピー	エースワン	マルナカ	レディ	ササオカ	コスモス
明海	11	8	0	3	5	3	5	1	0
喜路	11	1	0	0	2	1	5	0	0
能登	11	4	4	0	0	0	2	4	1
合計	33	13	4	3	7	4	12	5	1

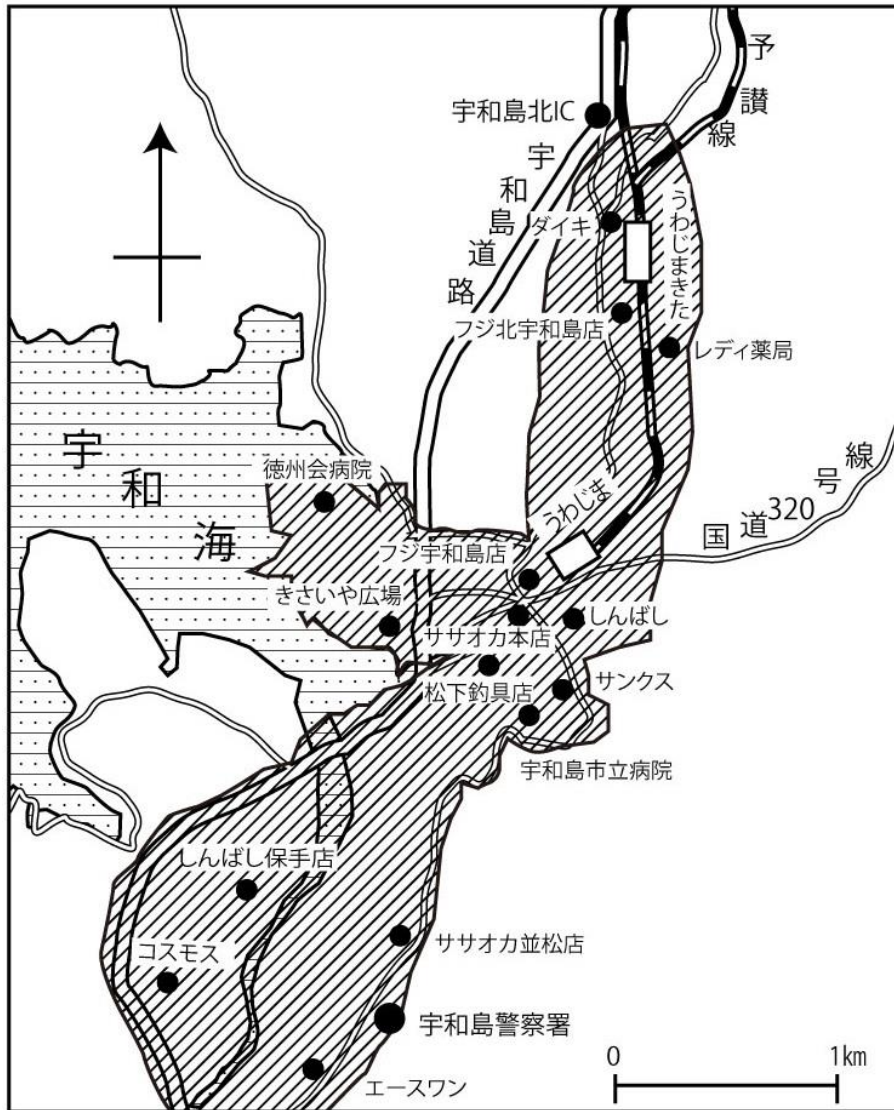
	病院		きさいや広場	ダイキ	コンビニ		松下釣具	合計
	市立宇和島病院	徳州会病院			ローソン	サンクス		
明海	2	0	4	7	6	2	3	36
喜路	7	0	4	0	0	0	1	20
能登	8	1	1	1	1	0	1	26
合計	17	1	9	8	7	2	5	82

(アンケート調査により作成。単位は人、複数回答の集計)

ような回答はなかった。

今回の調査によれば、日振島島民は、低次財は島内、高次財は近隣の比較的大きな都市・宇和島中心部で購入する。また、ネット通販は、本や衣料品

などを購入するために使用されるが、普及率は高くはなく、宮澤(1996)とほぼ同じような結果が得られた。



第4図 日振島住民の宇和島中心部での行動範囲
(アンケート調査により作成)

4 日振島におけるコミュニティ活動

1) 明海地区自治会による年間活動

明海地区は島の中心集落であり、小学校、郵便局、宇和島市役所日振島出張所などが立地する。明海地区では1年を通して様々な自治会活動が行われている(写真7)。これらの活動には海岸や道路の清掃が多く含まれ、住民のほとんどが参加し、

活動後には懇親会が行われるなど、住民の親睦が深まる機会になっている。自治会費は毎月各世帯2,000円と比較的高いが、全世帯が自治会に所属し参加率も高いため、会費は滞納や拒否もない。予算が不足する場合には、住民有志から協力金が集められ(第11表)、防犯街灯の電気料や修繕費また神社費用や寺院の住職手当などに使われる(第12表)。

同地区の主要行事をみると、日振島小学校入学

第8表 日振島住民の宇和島市における商品の最多購入場所

	食料品					生活雑貨				
	日振島		宇和島 中心部	大洲・ 松山	ネット 通販	日振島		宇和島 中心部	大洲・ 松山	ネット 通販
	生協	他				生協	他			
明海	0	29	11	2	0	0	7	24	2	2
喜路	3	25	28	0	0	3	12	30	3	0
能登	2	23	24	0	0	0	10	37	0	0
合計	5	77	63	2	0	3	29	91	5	2

	薬・化粧品					衣料品				
	日振島		宇和島 中心部	大洲・ 松山	ネット 通販	日振島		宇和島 中心部	大洲・ 松山	ネット 通販
	生協	他				生協	他			
明海	0	3	29	2	4	0	0	31	4	6
喜路	1	5	33	0	2	0	0	37	4	1
能登	0	2	40	0	0	0	0	33	2	6
合計	1	10	102	2	6	0	0	101	10	13

	電化製品					合計
	日振島		宇和島 中心部	大洲・ 松山	ネット 通販	
	生協	他				
明海	0	14	21	2	4	77
喜路	0	22	20	0	0	104
能登	0	17	17	0	4	96
合計	0	53	58	2	8	277

(アンケート調査により作成。複数回答の集計)

第9表 宇和島での滞在時間

	1～4時間	5～8時間	9～24時間	25時間以上	合計	平均滞在時間 (時間)
明海	10 (27.7)	10 (27.7)	8 (22.2)	8 (22.2)	36 (100.0)	17.5
喜路	5 (20.0)	15 (41.6)	7 (19.4)	9 (25.0)	36 (100.0)	21.3
能登	5 (13.5)	14 (37.8)	10 (27.0)	8 (21.6)	37 (100.0)	16.3
合計	20 (19.6)	39 (38.2)	25 (24.5)	25 (24.5)	102 (100.0)	18.0

(アンケート調査により作成。単位は人)

第10表 ネット通販利用者と購入商品

	ネット通販 利用者数	購入商品 (人数)
明海	14	1位：本 (8) 2位：衣料品 (4), 3位：CD (3)
喜路	10	1位：衣料品 (3) 2位：本 (2), ほぼすべてのもの (2)
能登	11	1位：本 (4) 2位：衣料品 (2), 化粧品 (2)

(アンケート調査により作成。単位は人、複数回答の集計)

式と卒業式には自治会長、婦人会長、郵便局長などの来賓が招待され、式が執り行われる(第13表)。その後の新任教職員歓迎会と離任教職員送別会は

公民館で行われ、小学校教職員と住民との懇親会が行われている。小学校教職員も自治会行事に参加することが多い。7月の海の清掃は毎年海の日に

第11表 日振島明海地区の自治会収入予算案(2013・2014年度)

科目	2013年	2014年	備考
繰越金	5,085,524	5,323,802	
会費	700,000	700,000	自治会費
神社費	650,000	650,000	御神札・協賛金
敬老会費	50,000	50,000	祝儀・市補助
供養費	20,000	20,000	
敷地料	85,000	85,000	
協力金	300,000	300,000	
補助金	300,000	300,000	防犯灯・生ゴミ他
施設管理費	20,000	20,000	集会所使用料他
雑収入	2,000	2,000	
利息	100	100	
合計(円)	7,212,624	7,450,902	

(2014年度日振島明海地区自治会資料により作成)

第13表 日振島明海地区における自治会主要行事(2013年度)

4月	日振島小学校入学式
	日振島小学校新任教職員歓迎会
5月	海円寺清掃
7月	海の清掃
	天満神社土用祭
8月	盆踊り
	市・県道草刈作業
9月	敬老祝賀会
	日振島大運動会
10月	天満神社秋祭
12月	海円寺清掃
1月	念仏始め
	公民館餅つき大会
2月	避難訓練
	海岸清掃
3月	日振島小学校卒業式
	日振島小学校離任教職員送別会

(聞き取り調査により作成)

行われ、喜路、明海、能登の3地区一斉に島の周囲の海岸のごみを拾っている。敬老祝賀会は敬老の日に公民館で行われ、自治会役員や婦人会役員

が出席し、婦人会が料理を作る。天満神社秋祭は毎年10月下旬の土曜日に行われる。現在日振島には宮司が常駐していないため、宇和島から宮司が来

第12表 日振島明海地区の自治会支出予算案(2013・2014年度)

科目	2013年	2014年	備考
防犯街灯費	300,000	300,000	電気料・修繕費
神社費	600,000	600,000	御神札・宮司日当・お供え他
寺院費	320,000	320,000	住職手当
供養費	70,000	70,000	
総会費	30,000	30,000	
会議費	50,000	50,000	役員会・監査会
役員手当	295,000	295,000	自治会役員
交際費	50,000	50,000	歓送迎会・レタックス代他
敬老会費	70,000	70,000	弁当・飲料他
負担金	10,000	10,000	
税金	10,000	10,000	固定資産税
助成金	120,000	120,000	行政協議会・消防団・運動会
旅費	30,000	30,000	校区会費
陳情費	10,000	10,000	
水道料	30,000	30,000	集会所・神社
施設管理費	50,000	50,000	草刈機備品・修繕費他
雑費	22,100	22,100	飲料他
貯金	5,085,524	5,323,802	
合計(円)	7,212,624	7,450,902	

(2014年度日振島明海地区自治会資料により作成)

島して祭りが開催される。2月の避難訓練の避難場所は、高台にある海円寺の上部にある。台風がくるとまず住人は船を繋留するが、デラ台風(1949年)以降は災害による大きな被害はないとされる。

2) 他集落や地域住民との関わり

日振島におけるコミュニティ活動は、基本的に明海、喜路、能登の3地区それぞれの自治会ごとに行われる。秋祭りは、明海では10月下旬の土曜日に行われるが、能登では9月の中旬に行われる。喜路では、旧暦の6月15日に夏祭りが行われ、7月1日に日振島の南5kmに位置する無人島である御五神島(おいつかみじま)において大漁を願う大漁祭が行われる。明海と能登では、デラ台風(1949年)死亡者を供養するため、口説(くどき)という歌を歌って踊る行事が8月に行われる。

毎年9月中旬に開催される日振島大運動会は、3

地区の小学生と大人がそろって参加し、3地区合同で行われる。このため、日振島大運動会が一年で最も大きな行事である。以前は午前中に小学校の運動会、午後に市民運動会と分けられて開催されていたが、小学生の数が減少し7年前からは一緒に実施されるようになった。運動会では、宇和海中学校校長が招待され、小学校卒業生が島に帰るなど、200人以上が参加する。この運動会をはじめ、日振島では小学生と大人が交流する行事が多い。これは、小学生の数が減少しているのに加え、中学へ入学すると宇和島本土の中学校で寄宿生活を送るため、小学生が大事にされるのである。

このように日振島では様々なコミュニティ活動を行うことにより、住民間の交流が深まっている。島外からの移住者もこれらの活動に参加することにより、地域住民と親密となる。

5 おわりに

本研究では、日振島住民の生活行動の現状について述べてきた。日振島住民の特徴として、島内に存在するJA宇和島出張所で低次財、宇和島中心部などで高次財を購入していることが明らかとなった。近年利用者が増加してきているネット通販の利用率は、あまり高くなく、宮澤(1996)が、離島に住む住民が高次財を購入する場合、近隣にある比較的大きな都市で買い物するとの指摘とほぼ同じ結果となった。日振島の場合、低次財は島内、高次財は近隣の比較的大きな都市・宇和島中心部で購入し、ネット通販利用者は若干名存在した。宇和島への訪問目的は、買物、通院、食事である。また、訪問施設は、フジ、しんばしスーパー、レディ薬局、きさいや広場などであり、行動範囲は宇和島駅を中心として南北約4キロ、東西約2キロほどであった。

また、島内のコミュニティ活動として清掃活動や運動会、敬老祝賀会などが行われており、それ

らの活動は島民の協力によって支えられている。これらの活動資金も、補助金だけではなく、自治会費や協力金などで賄われており、島民一丸となり活動を行っている。

今後は日振島全体の人口減少がさらに進むと考えられ、島内のコミュニティ活動の存続が危ぶまれる。また、盛運汽船の経営問題から航路の集約化や便数が減少し、宇和島などでの購買行動がより困難になり、将来的に日振島でのネット通販の利用率が上昇する可能性もある。

参考文献

- 滝石新也・永井菜穂・寺谷亮司(2015)：愛媛県宇和島市日振島における人口の変化と流出入．地域創成研究年報10, 63-70.
- 日振-宇和島航路改善協議会(2011)：『日振～宇和島航路改善計画(概要)』, 1-8.
- 宮澤 仁(1996)：離島における消費者購買行動の一考察—長崎県五島列島岐宿町の事例—．経済地理学年報, 42, 44-57.



写真1 普通船「しらさぎ」
(2014年9月16日 山下撮影)



写真2 普通船「しらさぎ」の貨物室
(2014年9月16日 黒田撮影)



写真3 クレーンを使った荷物の積み下ろし
(2014年9月16日 黒田撮影)



写真4 JA南日振島出張所の外観
(2014年9月17日 黒田撮影)



写真5 JA南日振島出張所内
の冷凍庫
(2014年9月17日 黒田撮影)



写真6 日振島の一般家庭の
冷蔵庫
(2014年9月17日 黒田撮影)



写真7 日振島における実施
事業のポスター
(2014年9月17日 黒田撮影)